

国語 小学校 2年

単元名 むかし話を楽しんで読もう
「かさこじぞう（むかし話）
東京書籍「新しい国語二下」

単元の流れ（全12時間）

【第1次】＜「かさこじぞう」を読む＞

◇第1時～第9時（本時第7時）

- ・場面の様子について、音読を手がかりにして、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む。

CLICK

音読を手がかりにした授業展開の例はこちら

「活用」の力育成のために

昔話に興味を持ち、読むことを楽しむ態度を養う。(①)

単元目標

○場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、昔話のおもしろさを味わう。

第1次の詳細については、「平成18年度京の国語力向上のための国語科カリキュラム改善資料－読むこと」が参考になる。

単元構成の意図

「読み聞かせ」によって、伝統的な言語文化に親しむ態度を育てるとともに、場面や登場人物の言動を想像しながら読む力を養う。

内容理解や読み聞かせを通じて習得した基本的知識・技能を実際に一年生に読み聞かせることで活用できるように配慮した。

【第2次】＜「むかし話」を選んで読む＞

◇第10時 「むかし話」を読む

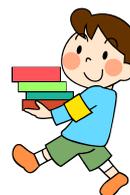
- ・「むかし話」のブックトークを聞く。（「むかし話」への興味もたせる。）
- ・各自で本を選んで読む。（一人で読めない場合は読み聞かせる）
- ・楽しかった本を紹介する。

学校図書館の利用

「活用」の力育成のために

昔話に興味を持ち、読むことを楽しむ態度を養う。(①)

児童が読みたい本を見付けやすいように特設のコーナーを設けたり、公共図書館などと連携し、同じ本を複数冊用意したりするなど工夫する。



【第3次】＜「むかし話」の読み聞かせを行う＞

◇第11時 「読み聞かせ」の練習

- ・「読み聞かせ」したい本を選ぶ。
- ・「読み聞かせ」の練習をする。
- ・互いに聞き合い、アドバイスをする。

◇第12時 「読み聞かせ」を行う。

- ・一年生を招いて、「読み聞かせ」を行う。

学校図書館の利用

「活用」の力育成のために

本を読んで楽しかった体験を1年生に伝える意識がもてるようにする(①③)
聞き手に伝えるために、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けさせる。(②)

「活用」の力を育てるポイント

- ① 第1次で昔話を楽しんで読んだ体験をもとに、読みたい本を自分で選ぶことや、自分の力で読むことを大切にする。
- ② 一年生への読み聞かせでは、相手にしっかり伝えることを大切にして、ゆっくり丁寧に読むようにする。
- ③ 読み聞かせの前後に、本を選んだ理由や、おすすめのことばを一言添えることで、主体的に取り組めるようにする。

HOME

本時の流れへ